

水はどこから？

七ヶ宿ダム

しち か しゅく

で楽しく学ぼう！

施設見学のお申込、お問合せは

国土交通省
東北地方整備局

七ヶ宿ダム管理所

〒989-0536 宮城県刈田郡七ヶ宿町字切通52-40
<https://www.thr.mlit.go.jp/shichika/>



0120-167-877

(受付時間：平日（年末年始除く）9時～17時）

施設見学

見学案内：平日のみ（年末年始除く）9時30分から17時（12時から13時除く）

■お申し込み・お問い合わせ

フリーダイヤル（携帯電話からもご利用いただけます。）

0120-167-877

■受付時間：9時～17時（平日）

※見学案内ご希望の方は前日までの事前予約が必要です。



監査廊

ダムを内側から監視、点検作業するための全長約2kmの地下通路（監査廊）です。通常は職員しか入ることのできない監査廊の一部を見学いただけます。



大噴水

ダム湖の水質を保つため、深い所から冷たい水をくみ上げ吹き上げています。噴水の打上げは4月中旬から11月末（変更がある場合有り）までで、ご自由に見学いただけます。



展示室

ダムの役割から地域の自然にいたるまで、パネルなどで楽しく学習出来るスペースがあり、ご自由に見学いただけます。開館時間：平日（年末年始除く）9:00～17:00



堤体

ダム本体の上に出ます。ダムの大きさや高さをより実感できます。遊歩道として解放しておりますので、ご自由に散策いただけます。

出前講座

七ヶ宿ダム管理所ではダムの役割等を知っていただき、親しんでいただくために出前講座を行っております。所要時間は60分程度が基本となります。詳しくは、お電話にてお気軽にご相談ください。

講座内容

- 【一般の方対象】
- 「七ヶ宿の歴史とダムとの関わりについて」
～歴史ある宿場町から水源の町へ～
- 【小中学生対象】
- 「七ヶ宿ダムのしごとについて」
～ダムの役割と水の大切さ～



ダム湖の利用について

【利用期間】4月1日～11月30日 【利用時間】日の出から日没まで

船などの利用は事前の申請が必要です。

水上オートバイ・エンジン（燃料使用）付船は禁止です。

ダム湖の水は、水道水・かんがい用水等に利用されています。また、周辺地域は動植物の貴重な生息空間でもあります。水を汚さず、みんなが楽しく、気持ちよく使えるよう、お互い協力しましょう。

【問い合わせ先】 ●七ヶ宿ダム管理所 TEL:0224-37-2122

●七ヶ宿ダム自然休養公園協議会 TEL:0224-37-2194



交通アクセス



●七ヶ宿ダムホームページ●

七ヶ宿ダムの情報が満載！貯水位、放流量など随時更新。最新の情報をご覧ください。



設備



ダム情報

ライブカメラ



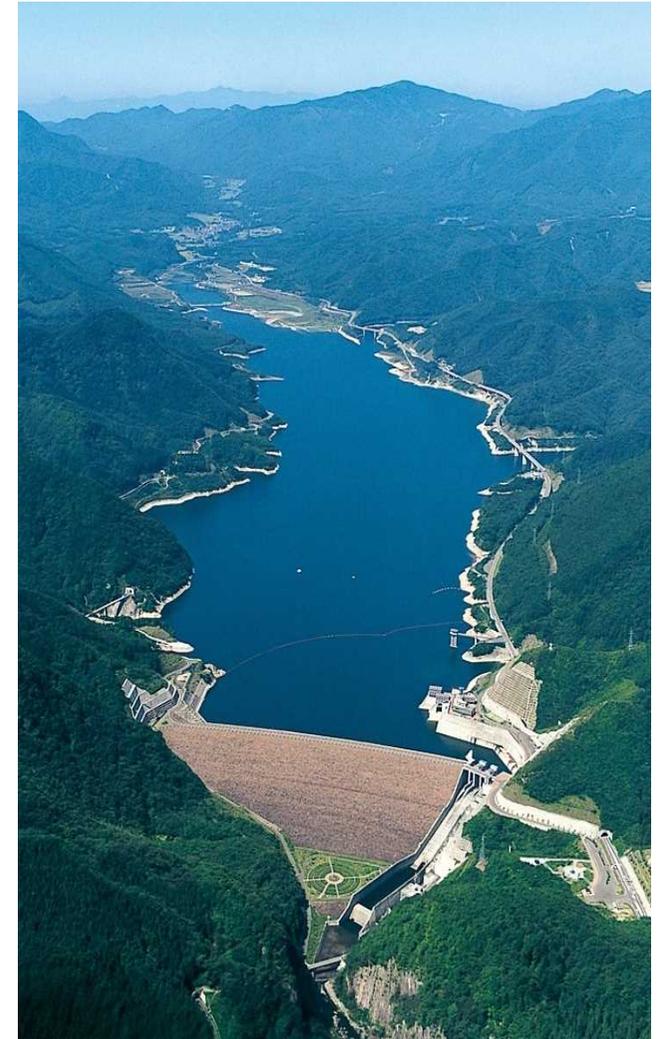
URL: <https://www.thr.mlit.go.jp/shichika/>

国土交通省 東北地方整備局
七ヶ宿ダム管理所

〒989-0536
宮城県刈田郡七ヶ宿町字切通52-40
TEL: 0224-37-2122(代)
FAX: 0224-37-2471 (R5.3作成)

阿武隈川水系白石川

七ヶ宿ダム



国土交通省 東北地方整備局
七ヶ宿ダム管理所
<https://www.thr.mlit.go.jp/shichika/>

七ヶ宿ダムの概要

南蔵王連峰を背後に、白石川の流域面積の29%を占める集水面積236.6 Km²、総貯水量1億9百万m³の中央コア型ロックフィルダムで平成3年完成したダムです。

ダムの目的は、洪水調節、かんがい用水、水道用水、流水の正常な機能確保にあります。

特に水道用水は、仙台市を中心とする仙南・仙塩地域(8市9町)の水がめとして重要な役割を果たしています。

ダム管理所では、洪水時や平常時のダム操作をはじめ、ダム周辺の維持管理、ダム施設の点検整備、流量や水質等の観測を行っています。



七ヶ宿ダム全景

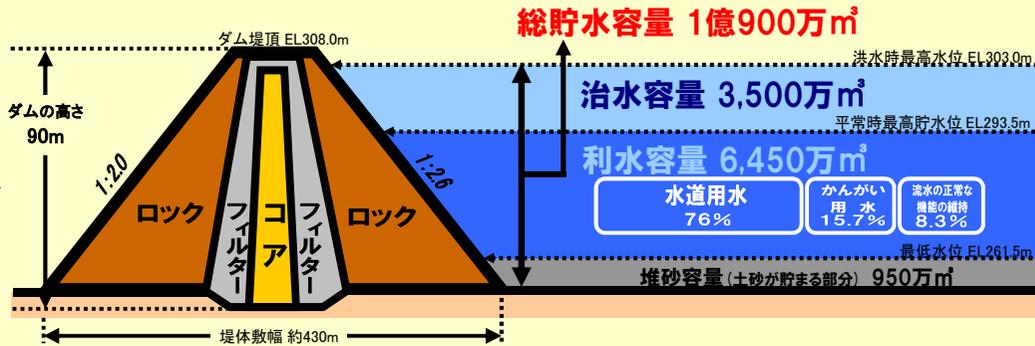
ダムが造られる前は「渡瀬(わたらせ)・原(はら)・追見(おっけん)」の3つの集落がありました。158世帯・637人の移転、先祖伝来の土地の提供など、多くの方々のご理解とご協力により、七ヶ宿ダムは建設されました。



ダム建設前の集落全景

七ヶ宿ダム諸元・断面図

- ダムの高さ: 90m
 - ダムの長さ: 565m
 - 湖面の面積: 4.1Km²
 - 総貯水容量: 1億900万m³
 - 形式: 中央コア型ロックフィルダム
- 「中央コア型ロックフィルダム」とは、中心に水をさえぎる【コア(土)】と、堤体を安定させる【ロック(岩石)】、その中間の【フィルター(砂利)】などで構成されるダムです。
- 七ヶ宿ダムは、その材料をダム周辺の山や河原から採取し、盛り立てました。



七ヶ宿ダム管理所のしごと

●ダム堤体の健全性保持

ダム堤体には常に水圧が作用しているので、表面変形、沈下状態や劣化度の測量調査を行っています。さらに、堤体内部の埋設計器(土圧計など)のデータや漏水量測定を常時行って、正常であることを確認しています。地震発生時には緊急点検を実施します。

●施設の保守管理

ダムの機能を発揮させるために、さまざまな設備があります。雨量・水位観測所、取水・放流設備、水質観測・保全設備、情報を沿川住民に伝える警報・電光表示板、水力発電設備などです。常に正常な作動状態を保つ管理をしています。



●巡視などによる点検

ダム湖と周辺は巡視船による巡視、作業船による流木の回収作業、ダム流域や下流白石川沿川は警報車による巡回(パトロール)をしています。



七ヶ宿ダムの役割

治水

●洪水調節

大雨が降った時、平常時は洪水の為に開けている所(3,500万m³)を活用し、ダムに水を貯め込みます。ダム下流へは最大250m³/sの放流を行って、川に流がす水の量を調節し、下流の洪水被害の軽減を図ります。

七ヶ宿ダムがなかった頃は・・・

白石川・阿武隈川流域ではたびたび台風や大雨による洪水の被害にあってきました。七ヶ宿ダムができて、川の水の量を調節することで、下流の地域の洪水被害は少なくなりました。

●ダム完成前の昭和61年8月5日の洪水の様子



角田市枝野橋付近(阿武隈川)



白石蔵王駅周辺
(写真提供:白石市土木建設課)

七ヶ宿ダムの設備

●放流設備(ゲート)



ゲートとは水門のようなもので、上下に開閉して水の量を調整し、適切な貯水量を維持するための設備です。

大雨や台風が来た時には「オリフィスゲート」で下流に流す水の量を調整しています。水位が上がってオリフィスでは調整できない場合は、より上の位置にある「クレストゲート」で対応します。



●共同取水設備(表面取水型)

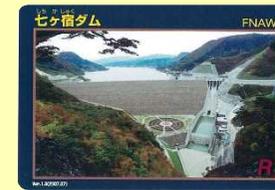
かんがい用水、河川流量の維持のための水(最大12.5m³/s)を取り入れる設備です。農作物の生育に適した、表面の温かい水を供給しています。

●水力発電(管理用発電機)



水力エネルギーを有効に活用し、ダムで使用する電気を得るため、水力発電を行っています。最大使用水量8.5m³/sで最大出力3,600kwの発電です。余剰電力は東北電力に売電することで年間約2億円以上の経費削減を図っています。

●ダムカード●

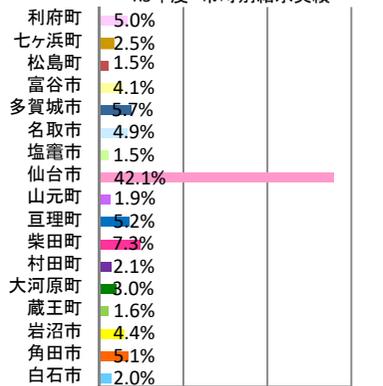


ダムのことを知っていただくために、国土交通省と(独)水資源機構などが管理している全国のダムを対象に、簡易的なパンフレットとして作成されました。東北地方整備局直轄管理ダムのダムカードは18ヶ所あります。

※カードはそれぞれのダムへ行かないと手に入りません!
※カードを希望される方は職員へお申し出ください(お一人様一枚です)。
※カードの発送、他のダムからのお取り寄せは致しません。

利水

七ヶ宿ダム水道用水供給地域 R3年度 市町別給水実績



データ提供: 仙南・仙塩広域水道事務所

●水道用水

七ヶ宿ダムから送水され、白石市にある南部山浄水場で水道水となり水道水は、仙台市を含む仙南・仙塩地域合わせて8市9町へ1日最大595,000m³(約193万人分)を供給できる量を確保しています。

●かんがい用水

白石川流域沿岸などの農業用地、約2,800haに供給しています。

●流水の正常な機能の維持

日照りや雨量不足でも、川の水を使用している方々に安定した水量を提供し、川の環境や周辺の生態系を守っています。